

販売拡大戦略の位置付け

東京2020大会組織委員会が平成30年3月末に策定した「東京2020大会 飲食提供に係る基本戦略」を踏まえ、平成32（2020）年度まで「東京オリパラ三重県農林水産協議会」が推進する戦略として、現状と課題、東京2020大会後のめざす姿を示した上で、東京2020大会をマイルストーンとして、①誰に、②何を、③どのようにプロモーションして販売先を開拓するのか、また、その販売先に対して①何を、②どれだけ生産し、③どのように加工・流通させるのかの基本的な考え方と取組内容等を示すものである。
伊勢志摩サミットで県産農林水産品を提供し、取引量や価格の増大につながる非常に高い評価を得た県内関係者の皆さんが、次の舞台である東京2020大会でその経験を大いに生かし、レガシーを次世代へ継承できるよう、本戦略に基づく取組を着実に推進していく。

東京2020大会が三重県にもたらす問題と課題

来る東京2020大会を契機に、本県においても県産農林水産品のプロモーションや生産・加工・流通体制の整備等に取り組まなければ、県産農林水産品の国内外への展開は他都道府県より大きく出遅れるとともに、東京2020大会に関するレガシーを次世代に継承することができなくなる。この問題の解決に向けて、次の3点に課題を整理する。
（1）東京2020大会の選手村や大会会場等で飲食が提供される機会を生かす
（2）首都圏のホテル等で飲食が提供される機会を生かす
（3）東京2020大会関連イベント等の事前イベントでのPRの機会を生かす

取組の基本的な方向性

①誰に、 ※食材・食品に関する販売先のうち、重点的にプロモーションを行う販売先のみ記載しています。

飲食の提供機会	飲食提供場所	食材・食品の販売先（ターゲット）
プレスツアー及び大会期間中	選手村、IBC/MPC、競技会場、練習会場	ケータリング事業者 既存の競技会場の事業者
	宿泊施設	首都圏等のホテル
	ホスピタリティーセンター	東京2020大会スポンサー
東京2020大会関連イベント	イベント会場	首都圏等のホテル
各国のパーティ	パーティ会場	首都圏等のホテル

②何を、③どのようにプロモーションして販売先を開拓するのか

ターゲット	売り込む農林水産品	プロモーションの手法
ケータリング事業者 既存の競技会場の事業者	GAP等認証取得のうち、大会期間中（7～9月）に提供可能な食材。特に、農福連携や有機農業生産物等の東京2020大会推奨食材。	ケータリング事業者等を対象とした県産品披露レセプション、県内生産地見学や商談会 など
首都圏等のホテル	上記に加え、ストーリーのある食材・食品、伝統野菜・伝統果実、水産物、畜産物、三重ブランド認定品等の「三重県ならではの」の食材・食品	三重県フェアを希望するホテル等を対象とした個別プロモーション など
東京2020大会スポンサー		東京2020大会スポンサーのノウハウと県産品を活用したメニュー開発 など

上記販売先に対して、①何を、②どれだけ生産し、③どのように加工・流通させるのか

各販売先に提供する食材・食品を、農林水産等の分野ごとに、品目、取引・出荷形態、加工形態等を整理（概要P.2参照）。また、首都圏への流通ルートを確認するとともに、コストを削減するため、商流と物流の一元化など効率的な流通の実現をめざす。

めざす姿

東京2020大会のあらゆる場面で選ばれる県産農林水産品をめざす。

＜三重県での形成が期待される主なレガシー＞

- ①県産農林水産品の首都圏における販路
- ②GAP等の第三者認証取得による生産体制の国際化
- ③首都圏に向けたフードチェーンの構築
- ④農水等の異分野や生産・加工・流通・販売の各段階の関係者によるネットワークの構築

世界で選ばれるみえの農林水産品

取組内容

①プロモーション関係、②農産関係、③畜産関係、④水産関係、⑤食品・加工・流通関係ごとに、現状と課題、対応方針（レガシーにつなげるための方針）、レガシーの形成にむけた数値目標、推進体制、具体的な取組内容を記載。

○レガシー形成に向けた主な数値目標

分野等	主な目標項目	年度	目標値
①プロモーション	首都圏等における三重県産農林水産品の新規取引件数	2018～2020	累計300件
	首都圏のホテル等での三重県フェアの開催件数	2018～2020	累計15件
	東京2020大会スポンサーとの連携による県内外における三重県産農林水産品のPR件数	2018～2020	累計48件
②農産	農業経営体・産地における農産物のGAP認証取得数	2019末	70件
	うち福祉事業所における農産物のGAP認証取得数	2019末	7件
③畜産	JGAP家畜・畜産物認証取得数	2019末	6農場
④水産	県内養殖漁業産出額のうち、養殖エコラベル認証を取得したものが占める割合	2020末	45%
⑤食品・加工・流通	首都圏に向けたフードチェーンの構築数	2020末	1件
	首都圏に向けたフードチェーン構築に向けた取組に参加する事業者数	2020末	5者

販売拡大戦略の推進にあたって

それぞれの取組項目の進捗状況について、定期的に開催される東京オリパラ三重県農林水産協議会の全体会や三重県2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業推進本部会議にてフォローアップを行うとともに、必要に応じてリバイスを行う。

ケータリング事業者、既存の競技会場の事業者への販売をめざす主な食材①

GAP、AEL認証を取得した又は取得予定である次の食材の提供をめざす。

①農産物 ※あくまでも戦略策定時の主な品目を掲載しています。

	品目	認証農場等 認証の種類	年間 出荷量(t)	取引形式	7~9月の 加工形態	東京2020大会 推奨事項
1	結びの神 (精米)	ASIAGAP JGAP	40.00	契約取引		
2	伊勢茶	ASIAGAP JGAP	400.00	契約取引		
3	三重なばな	グローバルGAP 取得予定	1.75	契約取引	冷凍加工品	農福連携
4	トマト	グローバルGAP JGAP取得予定	490.00	契約取引		
5	アスパラガス	JGAP取得予定	5.00	契約取引		
6	水耕ねぎ	JGAP	5.00	契約取引		
7	いちご	JGAP取得予定	19.00	契約取引	冷凍・ピューレ 加工品	農福連携
8	かぼちゃ	JGAP取得予定	10.00	契約取引		
9	こまつな	JGAP	0.02	契約取引		
10	リーフレタス	ASIAGAP JGAP	30.00	契約取引		農福連携
11	キャベツ	ASIAGAP	140.00	契約取引		農福連携
12	かんきつ	ASIAGAP	100.00	契約取引	ジュース 加工可能	農福連携 有機農業
13	梨	三重ガイドライン GAP取得予定	200.00	契約取引		
14	ブルーベリー	JGAP取得予定	5.00	契約取引	ピューレ 加工可能	
15	ゴマ	ASIAGAP	0.50	契約取引		

②畜産物

	品目	認証農場等 認証の種類	年間 出荷量 (頭・羽)	取引形式	7~9月の 加工形態	東京2020大会 推奨事項
1	松阪牛	JGAP家畜・畜産物	1,193	契約取引	カット加工 可能	
2	伊賀牛	JGAP取得予定	180	契約取引	カット加工 可能	
3	美熊野牛	JGAP取得予定	100	契約取引	カット加工 可能	
4	県産黒毛和牛	JGAP取得予定	280	契約取引	カット加工 可能	
5	伊勢の国 健康豚	JGAP取得予定	12,000	契約取引	カット加工 可能	
6	熊野地鶏	GAP取得チャレンジ システム登録予定	24,000	契約取引	カット加工 可能	

ケータリング事業者、既存の競技会場の事業者への販売をめざす主な食材②

③水産物

	品目	認証農場等 認証の種類	年間 出荷量(t)	取引形式	7~9月の 加工形態	東京2020 大会推奨事項
1	伊勢まだい	AEL	750.00	市場取引	フィーレ 加工可能	
2	伊勢まぐろ	AEL	350.00	市場取引	ロイン加工 可能(冷凍)	
3	みえまぐろ	AEL	80.00	市場取引	GG加工 (冷蔵)	
4	三重県産 養殖マハタ	AEL取得予定	80.00	市場取引	要相談	
5	青さのり	AEL取得予定	500.00	契約取引	乾燥パック (冷凍)	

首都圏等のホテル、東京2020大会スポンサーへの販売をめざす主な食材

ケータリング事業者、既存の競技会場の事業者への販売をめざす主な食材(いちご、ブルーベリーを除く。)に加え、次のみえの伝統野菜・伝統果実、三重ブランド等の提供をめざす。

①農産物 ※あくまでも戦略策定時の主な品目を掲載しています。

	品目	出荷可能時期	取引形式	加工形態	推奨事項	備考
1	伊賀米コシヒカリ (精米)	通年	契約取引		みえ セレクション	
2	松阪赤菜	11月~ 3月上旬	契約取引	酢漬け・ 塩漬け等あり	みえの 伝統野菜	加工品は通年提 供可能
3	芸濃ずいき	6月~8月	契約取引		みえの 伝統野菜	
4	伊勢いも	11月~1月	契約取引	冷凍加工品 あり	みえの 伝統野菜	冷凍加工品は 通年提供可能
5	モロヘイヤ	5月~9月	契約取引		東京2020 大会時の旬	
6	オクラ	7月~10月	契約取引		東京2020 大会時の旬	
7	ほうれんそう	11月~5月	契約取引		GAP	
8	五ヶ所小梅	5月下旬	契約取引		みえの 伝統果実	
9	蓮台寺柿	9月下旬~ 11月中旬	契約取引		みえの 伝統果実	
10	前川次郎柿	10月中旬~ 12月上旬	契約取引		みえの 伝統果実	
11	伊勢たくあん	通年	契約取引		三重ブランド	

②林産物

	品目	出荷可能時期	取引形式	加工形態	推奨事項	備考
1	みえジビエ	通年	契約取引	カット加工 可能	みえジビエ 登録	訪日外国人向け

③水産物

	品目	出荷可能時期	取引形式	加工形態	推奨事項	備考
1	伊勢えび	通年	契約取引	生鮮・冷凍	三重ブランド	
2	あわび	通年	契約取引	生鮮・冷凍	三重ブランド	
3	ひじき	通年	契約取引		三重ブランド	